

マイコプラズマ感染症は、「肺炎マイコプラズマ（*Mycoplasma pneumoniae*）」という細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症です。主に14歳以下に多い疾患ですが、成人でも罹る場合があります。秋から冬にかけて流行をみせ、4年周期で流行すると言われており、2024年はその周期にあたります。

感染経路は飛沫感染（感染した人の咳のしぶきを吸い込む）や、接触感染（感染者と接触したりすること）により感染すると言われています。感染してから発症するまでの潜伏期間は比較的長く、2～3週間程度とされています。

主な症状は発熱や全身の倦怠感、頭痛。少し遅れて咳が出始めることが多いです。咳は熱が下がった後も3～4週間ほど続きます。まれに重症化し、肺炎を発症することもあります。

予防としては基本的な感染予防を行いましょう。マスクの着用、換気、石けんによる手洗いやアルコール消毒などが有効です。

治療にはマクロライド系の抗生剤が第一選択とされています。無効の場合にはテトラサイクリン系抗生剤やニューキノロン系抗生剤が用いられることもあります。

冬は空気が乾燥し、感染症に罹りやすい季節です。部屋の保温と加湿を心掛け、睡眠をしっかり取り、感染症に負けない生活を送りましょう。

